

令和7年度
シラバス

教科・科目	総合・フィールドワーク	単位数	2
-------	-------------	-----	---

学年・クラス	3 学年 （ 必修 ・ 選択 ）	担 当 者	金澤・小貫・森下・神菌
使用教科書			
使用副教材	礼文島ガイドブック 礼文島の遺跡地図		

目 標

礼文島が有する独自の自然や文化活動を通じ、島の歴史や自然、観光や産業について体験を通して学び、地域理解や地域愛を育むとともに、その魅力をまとめ・伝える活動を行い、島内や島外の方々に魅力を発信する能力と人間性を育てる

授業の内容・進め方

〈家庭科〉

授業内容：地域に自生している植物やウニの殻（棘）を用いた染め物の実践と手芸品製作

進め方：自然から得られる染料を用いた染め物を学び、その染め物の特徴を生かした手芸品の製作を通じて、礼文島の良さや魅力をより多くの人に知ってもらう方法を考える。

〈保健体育科〉

授業内容：野外活動、アウトドアアクティビティ、野外炊事、模擬キャンプ、釣りなど

進め方：様々な野外活動について知識を深め、実践を通して身近な自然について気づき、発見し今後の余暇活動に実践に向けて考える。

〈地歴公民科〉

授業内容：礼文島の歴史 遺跡見学と発掘体験 礼文風の歴史と体験 礼文太鼓の歴史と体験 礼文番屋の歴史と活用

進め方：礼文島の様々な文化の歴史について体験を通して学び、伝統を受け継ぎ、発信するためには何が必要かをまとめ、発表する。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

〈家庭科〉

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	礼文の自然から得られる染料を用いた染め物に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。 染めた布の特徴を生かした手芸品の製作に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	染め物の原理を理解した上で、色や文様の工夫とそれを活かした手芸品の製作計画が立案できる。 染め物とそれを活かした手芸品について、その魅力を伝える方法を決め、表現することができる。	染め物の工程や手芸品の製作手順に計画性を持ち、自分で決めた課題（染め物のできあがりイメージ・製作計画）を解決しようとしている。 学習したことから、その魅力や他の事象との結びつきを持ち、それを発信しようとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価	実習（染め物・製作物）	◎	◎	◎
項目	プレゼン資料 発表内容 レポート	◎	◎	◎

〈地歴公民科〉

評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	ふるさと礼文島の歴史の展開についての基本的な事柄を総合的に理解し、その知識を身につけることができる。	ふるさと礼文島の歴史の展開に関連する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたり発表したりすることができる。	ふるさと礼文島の歴史の展開や特徴について主体的に考え、積極的に体験することができる
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	礼文島の歴史・文化史の記録	◎	○	△
	課題への取り組み	△	○	◎
	発表内容	○	◎	△

〈保健体育科〉

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	余暇活動を楽しむためのアウトドアに関しての知識や自然の特性をよく理解することが出来る。また、安全面についての理解を深め行動することができる。	余暇活動を行う上での安全性や自らの責任を理解し、リスクマネジメントを行うことができる。また、学んだ知識や技能を他者に工夫を凝らして表現することができる。	余暇活動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、活動に合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、自他の安全を確保し、学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	活動計画	○	◎	△
	実践と記録	◎	○	◎
	活動のまとめと発表内容	○	◎	△

- ・ 観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する

- ・ 評価・評定 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び中単元別評価基準

学期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	ガイダンス	・学習内容の把握			
	4	自然の材料を使った染め物	・染め物の基本 ・材料収集 ・染め物の実験 ・染め方の検討	・礼文の自然から得られる染料を用いた染め物に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	・染め物の原理を理解した上で、布等に色や文様のデザインの工夫をしている。	・染め物の工程に計画性を持ち、自分で決めた課題（染め方の工夫）を解決（実現）しようとしている。
	5	手芸品の製作	・染め物の実践 ・まとめ	染め物の特徴を生かした手芸品の製作に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	・染め物の良さを活かした手芸品の製作計画が立案できる。 ・染め物とそれを活かした手芸品について、その魅力を伝える方法を決め、表現することができる。	・手芸品の製作手順に計画性を持ち、自分で決めた課題（染め物のできあがりイメージ・製作計画）を解決しようとしている。
		6	野外における空間作りと火起こし体験	・石窯ピザづくり ・火起こし体験	・石窯やピザの体験を通して、今後の余暇活動の展望に活用する方法を思考できている ・身近なもの（虫眼鏡、ポリ袋等）の使用方法を工夫し、火を確保することができる。	・余暇活動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、活動に合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。また、自他の安全を確保し、学習に主体的に取り組むことができる。
	7	手作りルアーづくり		・自他の安全に留意し、石窯やピザを作成する方法を理解している ・減災に向けた取り組みと、緊急時の火の確保の方法を身につけることができる		
	8		・手作りルアー（雨プログラム）	・魚類の特徴を理解するとともに、安全に道具を使用できている	・魚類の特徴や魚礁の状況を理解し、カラーリングや形を工夫し作成することができる	
	9	礼文島の歴史 礼文島の文化史 礼文島の遺跡	・礼文島の歴史 ・礼文島の文化史 ・礼文島の遺跡 ・まとめ	・ふるさと礼文島の歴史の展開についての基本的な事柄について、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけることができる。	・ふるさと礼文島の歴史の展開に関連する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	・ふるさと礼文島の歴史の展開や特徴について主体的に考える事ができる。 ・礼文島の遺跡の魅力をどう発信するか主体的に考えることができる。
		礼文島鯨番屋活用事業（桃岩荘）と観光活性化の取組	・礼文島鯨番屋の歴史 ・桃岩荘の歴史 ・桃岩荘見学とヘルパーさんとの交流	・礼文島の鯨番屋の歴史と活用について、桃岩荘の歴史や文化、取組みについて観光事業活性化と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけることができる。	・礼文島の鯨番屋の歴史と活用について、桃岩荘の歴史や、取組み移住者の推移等について資料収集や見学、交流を通してまとめることができる。	・礼文島の鯨番屋の歴史と活用について、桃岩荘の歴史や、取組み移住者の推移等について見学、交流を通してこれからの礼文島活性化のために自分たちに何ができるか主体的に考えることができる

学 期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後 期	10	フィッシング体験	・魚釣り	・釣り竿の使い方や仕掛けの取り付け方を理解している ・自他の安全を確保し、釣りを実践できている	・魚がいるスポットを思考し、安全性を確認した上で実践できている ・フィッシング体験を通して、今後の余暇活動の展望に活用する方法を思考できている	・余暇活動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、活動に合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。また、自他の安全を確保し、学習に主体的に取り組むことができる。
	11	礼文島の文化史 礼文島の産業史	・礼文太鼓 ・礼文凧 ・礼文島の寺社 ・成果のまとめ	・礼文島の文化史や産業史について、歴史的な背景や現在の状況、伝承のための工夫について理解し、説明することができる。	・礼文島の文化史や産業史について、歴史的な背景や現在の状況、伝承のための工夫についてまとめ、発表することができる	・礼文島の文化史や産業史について、歴史的な背景や現在の状況、伝承のための工夫について主体的に学び、考察することができる。
		染め物から手芸品	・前期の続き			
	12	学習成果発表会・発表準備	・発表会に向けた準備・発表	・礼文島の特徴や魅力を理解できている ・学習を通じて学んだ内容を発表のための資料の選択・整理し、まとめることができる	・聞き手にあった内容を検討することができる ・礼文島の魅力を高め、いくことや広めていくために高校生ができることを提示できる	・役割を積極的に引受け、よりよい発表内容にしようとしている ・高校生の視点から、魅力の発信に向けて取り組めることを考えようとしている
	1	冬のアクティビティー	・かまくらづくり、そり滑り等 ※積雪量や天候によって変更の可能性あり	・余暇活動を楽しむためのアウトドア、特に雪や氷上での活動に関する知識・理解を深められている。	・自己やグループの能力と活動の特性に応じた課題の解決を目指すし、適切な目標の設定やフィードバックをしている。また、集団での役割を見つけ、適切な状況判断をし、行動している。	・余暇活動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、活動に合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。また、自他の安全を確保し、学習に主体的に取り組むことができる。

開始予定日	担当教員
4 / 8 ~	神 菌
6 / 23 ~	森下（Ⅱ講）
夏季休業	
8 / 18 ~	金澤・小貫
10 / 7 ~	金澤・小貫
10 / 20 ~	森下（Ⅱ講）
11 / 25 ~	発表準備（全員）
冬季休業	
1 / 20 ~	発表準備（全員）